

木の芽だ 桜だ 丘の上への園歌より…

丘のうえ

第141号

令和4年10月11日発行
発行・編集/東遠学園組合



ホームページ URL: <http://toengakuen.jp/>
インスタ ID: touengakuen

[児童部]20名、短期入所5名 [青年部]10名、短期入所7名、生活介護20名

[東遠地区生活支援センター]91名(放課後デイサービス・レスパイト・ホームヘルプ)

[こども発達センターめばえ]48名(毎日通園:知的20名・重心12名、並行通園:8名、親子通園8名)

[こども発達センターみなみめばえ]48名(毎日通園:知的26名・重心6名、並行通園:8名、親子通園8名)

[こども発達センターきためばえ]16名(毎日通園:知的)

【人数は定員:令和4年4月1日現在 (東遠地区生活支援センターは登録者数)】

第36回 療育講演会



今後も教育・福祉に関わる職員の資質向上への取り組みと、地域への障害理解の啓発のために、よりよい研修の場をつくっていくことで、ひとりでも多くの子ども達の育ちを支える礎になれたらと願っています。

講師には、NPO法人福祉広場理事長の池添素先生をお招きし、「子どもを笑顔にする保育・療育～保護者の悩みに寄り添う支援について～」というテーマで、主に保護者支援について深くお話を頂きました。対面式ながらではの臨場感あふれる研修会になりました。先生のお言葉に「子どもは大人を困らせる事でSOSを伝えている」というものがあり、子どもの行動の裏にある思いに気づいて受け止めいく大切さを改めて学びました。

参加者からも「育児は何回でもやり直せるという言葉に救われました」「子どもだけでなく、保護者にも寄り添った保育をしていきたいと改めて思いました」等のこれから保育に活かしていきたいという前向きな感想が多く聞かれました。

令和4年7月30日(土)に第36回療育講演会が、掛川小笠保育士会・静岡県西部健康福祉センターとの共催で3年ぶりに実施されました。ここ数年はコロナ禍のためリモートによる研修が多くなっていましたが、念入りな感染対策を実施した上で久々の対面式の研修会を開催できました。

◆巡回支援専門員が

寄り添う、安心した

子育て支援と専門的支援

地域の子育て支援や保育等の場で困った際には、巡回相談支援が活用できます！

こども発達センターめばえ

・みなみめばえ

◆巡回相談支援とは？

巡回相談支援とは、地域の子育て支援の場や保育園などの保育活動の場に、巡回支援専門員が訪問して、集団場面での活動や子どもの支援について助言などを行い、支援をすることです。

また、発達障がいやその特性の

ある子どもが通園する場だけで抱え込むのではなく、地域全体で支えていく「インクルーシブな支援」のひとつになります。

厚生労働省における発達障害者支援施策のひとつであり、当施設では令和3年度から取り入れている事業です。

◆巡回支援専門員とは

東遠学園組合が巡回支援専門員整備事業を受託し、構成市町（菊川市・掛川市・御前崎市・森町）の福祉・保健センター・教育と連携を図り様々な事業内容を実施しています。

巡回支援専門員は、発達障がいなどに関する知識を有する者とされ、当施設では子どもの支援に携わっている保育士・児童指導員・公認心理師・作業療法士・言語聴覚士などが担っています。

巡回相談支援とは、地域の子育て支援の場や保育園などの保育活動の場に、巡回支援専門員が訪問して、集団場面での活動や子どもの支援について助言などをを行い、支援をすることです。

また、発達障がいやその特性のある子どもが通園する場だけでなく、地域全体で支えていく「インクルーシブな支援」のひとつになります。

◆巡回相談支援の内容

①こどもの発達支援・相談

保健センターで行われている「あそびの教室」に参加し、子ども達と一緒に遊んだりしながら子どもの発達の様子を確認し、

子育ての悩みを共有したり子どもへの関り方と一緒に考え、親

同士の仲間作りなど、保護者や支援者の相談に応じています。

②保護者支援・相談

一歳6ヶ月健診や2歳2ヶ月相談などがきっかけとなり、子どもの発達に心配な面を保護者からお話を伺う「子ども相談」を保健センターで実施しています。発達検査を行い、子どもの発達状況や適応行動の様子を客観的に把握し、具体的な子ども支援を行っています。

③保育園などの支援者支援 子どもが通う保育園などに訪問し、子どもが生活する集団環境を活動しやすい、刺激や混乱することのない、わかりやすく、安心できる環境にするための工夫や、子どもに合った遊びを提案していきます。また地域の児童発達支援事業所などとの情報共有や事例検討会などの研修を行っていきます。

④機関連携と切れ目のない支援 地域で過ごす子どもを中心に、子育てをする保護者や家族が、保健センター→保育園などの就

園先↓小学校と環境が変わるごとに支援がつながるようにサポートする体制を整えています。

これからも構成市町の福祉・保健・教育・医療と連携をし子どもや保護者が安心して楽しく活動し、健やかな成長を促す一助になれるよう努めます。

今年で2年目の事業となりますが、保護者や関係機関、出向く施設のニーズを聞き、児童発達支援センターが地域の中核的な療育支援施設として役割を担つていきたないと考えております。参考..厚生労働省資料

療育支援課長 吉井桐子





「行事」で感じる

新型コロナウイルスの流行に伴い、ここ数年は行事を中止したり縮小したりして実施してきました。地域の行事も同じような状況の中で、行事を通して季節を感じたり「みんなで集う」機会が、以前に比べて少なくなっています。

幼児期の今、季節や伝統とふれあい生活を豊かにすること、大勢の人の前で日頃の成長をみてもう誇らしさを感じられることを大切にし、「あたらしい在り方」を常に考えながら実施しています。

感染症と上手につき合いながら、行事を通して子ども達の生活に彩りを添えられたらと願っています。



おやこ運動会



今年度は来賓を迎えて、全クラスの利用児・保護者が集う運動会を3年ぶりに開催しました。

大きな会場で、こんなに多くの人に見守られるのは初めて。緊張感の中で、おとうさん・おかあさんがいる心強さを感じながら、いっしょに運動遊びを楽しみました。

この経験は、きっと子ども達にとって達成感や自信に繋がったことだと思います。保護者の皆さんにとっても、初めてのことに向かう姿、集団の一員として過ごすお子さんの姿を間近で見る大切な機会になったことだと思います。

夏まつり



密にならないよう、2クラスずつ盆踊りやゲームコーナーを楽しみました。

子ども達の手作り提灯が華やかに揺れ、やぐらを囲んで踊る子ども達の元気な掛け声が、まつりらしい高揚感を演出していました。

いつもとはちがう特別な雰囲気を味わい、“どきどきわくわく”的感覚が、子ども達の心に思い出として刻まれたと思います。

コロナ禍で迎えた3年目の夏。コロナにも暑さにも負けず、利用者さんの元気な声が響いています。寮ではこの夏、毎年恒例のバーベキューと納涼祭を開催!スイカ割りに、かき氷、花火と夏を存分に味わい、笑顔がたくさん見られました。

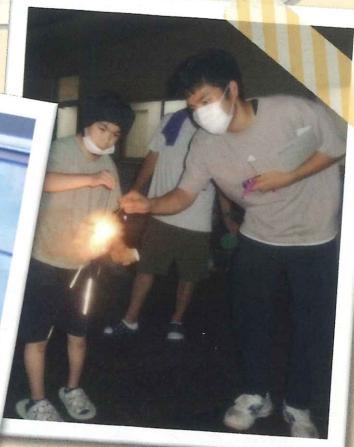
制限のある中でも、ちょっとした特別感や季節を感じられる機会を作り、生活をより豊かに過ごせたらと支援しています。引き続き感染対策とともに、楽しむことも忘れずに、利用者さんたちのかけがえのない日常と笑顔を大切に過ごしていきたいと思います。

バーベキュー
最高!!

それー!!

割れるかな?

やきそばにたこ焼き
お祭りメニューに大満足!!



秋と言えば「食欲の秋」

今回は児童部より調理会でお好み焼きを作る様子をお届けします!

上手に作れる
かなあ…?



↑お好み焼きの素を作っている様子。水とお好み焼き粉の分量もいい感じ!ダマにならないように上手に出来ています。

美味しそうに
作れたよ!



↑美味しそうなお好み焼きが完成!
誰一人焦がすことなく作ることが出来ました!



信頼できる大人や仲間たちと作り、食べる事で普段とは違う雰囲気の中で食事を楽しむことが出来ました。毎日行なう食事が楽しくなるようにこれからも支援を行っていきます!



放課後等ディーサービス たんぽぽ

放課後等ディーサービスは、障がいのあるお子さんや発達に特性のあるお子さんのための福祉サービスです。特別支援学校、特別支援学級在籍か通級を利用している、6歳～18歳までのお子さんが対象となっています。

たんぽぽでは、お子さんと一緒に好きなことにじっくり取り組むこと、気持ちの代弁をして共感すること等を通して、安心感や自己肯定感を高めることを大切にしています。

☆たんぽぽでの様子

○下校

掛川特別支援学校～およそ10分でたんぽぽに到着!!送迎車でお迎えに行きます。

○活動

各曜日で学部優先日を作り、年齢の近いお友達と一緒に活動しています。

活動に参加できたかよりも、お子さん一人ひとりが楽しく過ごせたかを重視しています。

○お迎え、帰宅

たんぽぽへお迎えに来て頂くことで、お子さんの姿を直接見て、雰囲気を知ることができます。またお子さんの事だけではなく、ご家庭のお悩みなどじっくりお話を聞かせて頂き、家庭支援に繋げています。



☆たんぽぽの環境

建物内に3部屋と体育館、外にはグラウンドもあります。ゆっくり休みたい時、体を動かしたい時など、子どもの思いに合わせ場所を選べるようにし、温かさを感じられる空間を目指しています。



« 行事予定 »

【東遠まつり中止】

今年度の東遠まつりは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止します。

【冬休み】

こども発達センター

めばえ・みなみめばえ・きためばえ

12月26日（月）～1月5日（木）

生活介護 東遠学園青年部

12月29日（木）～1月4日（水）

【生活介護 祝日開所日】

11月 3日（木）文化の日

11月 23日（水）勤労感謝の日

1月 9日（月）成人の日

2月 23日（木）天皇誕生日



※新型コロナウイルス感染拡大防止への対応等により、予定が変更になる場合があります。
ホームページ等でご確認をお願いします。

« 感謝の心 »

【寄付・寄贈】

掛川茶振興協会 様 (掛川茶)

(株)モリヤ 様 (納涼祭用お菓子・ゲーム)

平岡常一 様 (玩具・衣料)

鈴木富希代 様 (お菓子)

鈴木千恵美 様 (絵本)

掛川ロータリークラブ 様 (巨峰)

奥宮貴志夫 様 (現金)



【ボランティア】

鈴木瑞枝 様・伊谷園枝 様 (お茶・お華)

栗下静江 様 (裁縫)

大石友子 様 (ピアノ講師)

郷援隊 様 (草刈り)

静岡第3同志会 様 (草刈り)

～ 苦情解決窓口より～

令和4年6月～令和4年9月

苦情として第三者委員にあげられたものはありませんでした。

～ 編集後記 ～

最近、健康維持のためにウォーキングをしています。涼風が吹き、虫の音が賑やかになるなど、秋の足音が聞こえてくるようになりました。

今年の夏も各地で記録的な暑さが続き、夏バテした人も多いのではないか？最近では、秋の気配を感じる頃になって自覚する心身の不調を「秋バテ」と呼ぶようです。秋は気象状況も変動しやすいため、体調のコントロールが難しくなるようです。気温や天候に合った服装、バランスの良い食事、適度な運動を心がけましょう。

当園では、利用者、職員ともに夏を元気に過ごしており、その様子を本号でもお伝えしていますが、イベントなどを通して秋も元気に過ごしたいと思います。

みなさんは、食欲の秋、芸術の秋、読書の秋、スポーツの秋、行楽の秋、どのような秋を満喫しますか？

編集委員

沢島大助 中山明子 高柳阿季 藤原京子 三橋遼子 津原樹 美和永知

東遠学園 児童部・青年部 〒439-0037 菊川市西方 4345-2 Tel:0537-35-2753 Fax:0537-35-2799
東遠地区 支援担当 〒439-0037 菊川市西方 4345-2 Tel:0537-37-3995 Fax:0537-37-3996

生活支援センター 相談窓口 Tel:0537-35-2971 //
こども発達センター めばえ 〒436-0016 掛川市板沢 1941-35 Tel:0537-23-2312 Fax:0537-23-0008

みなみめばえ 〒437-1611 御前崎市新野 1877-7 Tel:0537-85-1200 Fax:0537-85-1201
きためばえ 〒439-0037 菊川市西方 4345-2 Tel:0537-25-7031 Fax:0537-37-3996

インスタグラム
やってます！

